

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 439 号	氏名	松尾 朋博
学位審査委員	主査	永安 武	
	副査	田口 尚	
	副査	小路 武彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、肉腫様腎細胞癌 (sarcomatoid renal cell carcinoma : SRCC) 患者におけるリン酸化 Cortactin (ctn) の臨床病理学的意義を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では、手術を施行した SRCC と conventional RCC (CRCC) 患者を対象に、その切除標本における ctn 及びリン酸化 ctn 発現を免疫組織学的に評価し、臨床病理学的因子や疾患特異的生存期間との関連について検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、リン酸化 ctn 発現量は SRCC において CRCC に比し有意に高く、多変量解析では pY421 ctn 発現が SRCC の独立予後予測因子であった。このことよりリン酸化 ctn が SRCC 治療の標的となる可能性が示唆された。</p> <p>以上のように本論文は、腎細胞癌治療の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			